

ひだごぼ真宗教化センターだより 2023年7月号

南無阿弥陀仏

発行日:2023(令和5)年6月29日 第36号

発行者:飛騨御坊真宗教化センター長・高山別院輪番 三島多聞

人と生まれたことの意味をたずねていこう

高山市鉄砲町6 ☎ 0577-32-0776

web <http://hidagobo.jp> ✉ takayama@higashihonganji.or.jp

2023年度「飛騨学場」開講 8月1日(火)～5日(土)

住職・坊守・寺族の皆様の積極的な聴講が願われます。奮ってご参加ください。

【本講】 1日～3日 「仏教と相応する間② ～『浄土論』『浄土論註』が開く世界～」(2/3年目)

講師 藤場俊基師(金沢教区・常讃寺住職)

【次講】 4日～5日 「死別を支えるお寺の力」

講師 尾角光美師(一般社団法人リヴオン代表理事)

時刻	6時半～	9時～	11時～	13時～	追弔会終了後
1日(火)	晨朝 暁天講座	開講式 講義(本講) 藤場俊基 師		寺族交流会 第1部(座談会) 16時～ 第2部(懇親会) 18時～	
2日(水)	晨朝 暁天講座	講義(本講) 藤場俊基 師		門徒・寺族追弔会(本堂) 法話:一楽 真 師	大谷大学同窓会総会
3日(木)	晨朝 暁天講座	講義(本講) 藤場俊基 師			
4日(金)	晨朝 暁天講座	講義(次講) 尾角光美 師	学場総会		
5日(土)	晨朝 暁天講座	講義(次講) 尾角光美 師	11時半～ 閉講式		

※ お齋はございません(午後日程のある日もお齋振舞いは御座いませんので各自ご用意ください)。

※ 「施齋経・報恩講」は2日の追弔会のみとなります。

※ 受講時は、間衣もしくは教衣に輪袈裟、また開講式・満講式は白服・間衣・墨袈裟をご着用ください。

※ 学場の受講は「大谷派教師陞補」に必要です。

◆1日に「寺族交流会」を開催◆ 第1部:座談会・第2部:懇親会 ※久々の開催となります。

第1部は、「同朋唱和の回復について」などをテーマに課題共有の場として座談会形式で開催。第2部は、飛騨地区内寺族の交流の場として懇親会を開きます。第2部については、幅広くご参加いただきたく、お子さまの参加もお待ちしております。

【暁天講座】 1日～5日に開催 6時半～7時半 会場:高山別院本堂

1日 「法蔵菩薩の願心とその成就」	藤場 俊基師(本講講師)
2日 「ぼくらはみんな微生物」	曾爾 テラフキ師(音楽家)
3日 「南無阿弥陀仏の呼び声」	一楽 真師(大谷大学学長)
4日 「なくしたものをつなげる生き方」	尾角 光美師(次講講師)
5日 「人生最期の時のために 自分の希望をつたえましょう」	土川権三郎師(丹生川診療所長)

★センター・別院からのお知らせ★

企画会議・総会開催 センター第1期終了 第2期に向けて

—第1期を総括・第2期では帰敬式推進室設置を提案—

6月7日、年度末及び新年度(センター体制第2期)に向けて、事業報告及び事業計画の審議の場として企画会議が開催された。第1期が終了を迎えることもあり、報告にあたっては各部会から総括文も提示された。

第1期については、教区改編による新たな教化体制として「飛騨御坊真宗教化センター」の立ち上げスタートであったが、コロナ感染拡大により事業実施に支障をきたし、中止や縮小、形を変えての実施となった。

また、第2期に向けて、引き続き教化の三本柱に取り組むことの確認がなされ、特に帰敬式については、「帰敬式推進室」を設置し取り組んでいくことが提案されている。また、本年度本山指定の事業として実施された、帰敬式法座についても、高山地区の実情に合わせて実施していくことが提起された。

なお、企画会議の冒頭では、第2期の人事として、座長に旭野康裕氏(益田組)永養寺)、副座長に白尾公信氏(2組了心寺)が互選された。

6月28日には、新委員によるセンター総会も開催され、第1期総括、事業報告及び事業計画、帰敬式推進室の設置などについて承認がなされた。

ごぼう夏のつどい 飛騨御坊からの挑戦状

期 日 7月28日(金) 会場:高山別院
午前の巻 9:30～12:00
午後の巻 14:00～16:30 ※各回定員30名
※どちらかご都合の良い回へお申し込みください。

詳細およびお申し込みにつきましては、右のQRコードからアクセスください。



朝日高根組 子ども会

6月25日(日)、朝日高根組の寶蓮寺を会場に、朝日高根組子ども会が行われた。当日は約30名の子どもたちがつどい、おつとめと中飯田住職のお話、アイスブレイクののち、チームに分かれてのおたのしみ会が開かれた。4種類の軽スポーツと念珠づくりに、子どもたちは時間を忘れて楽しんだ。参加者からは「いろんな遊びがあってすごく楽しかった!」との声が聞かれた。



高山別院内掲示法語① 一高山別院内で掲示された法語の一部をご紹介しますー

高山別院の本堂・境内では、常に法語の掲示が行われています。輪番や列座が選定(自作の法語もあります)し、輪番が筆耕したもののや、各書道塾に依頼し、中高生に書いていただいたものなどです。毎月14~5枚、月初めに張替えされます。

近年、法語掲示がインターネット上でも話題となり、宗旨宗派を問わず多くの人たちの関心を引いています。言葉そのものの力もありますが、上手下手を問わず、人が筆を持ってしたためたものであることの力も大きいのではないのでしょうか。

このたび、第1期中に別院で掲示された法語の一部を、活字ではありますがご紹介いたします。各ご寺院での法語掲示にご活用いただければ何よりです。また、心を寄せられた法語や自作の法語がありましたら、センターまでお知らせください。

飛騨御坊法語研究会

腹立たば
鏡の前に立ってみよ
鬼の姿がただで見られる

己が目の力で見ると思うなよ
月の光で月を見るなり 古歌

自分が分からない人は 他人を責める
自己が分かった人は 他人を痛む
安田理深

徒らに 過す月日は多けれど
道を求むるときぞすくなき 道元禅師

人生が行き詰まるのではない
自分の思いが行き詰まるのだ

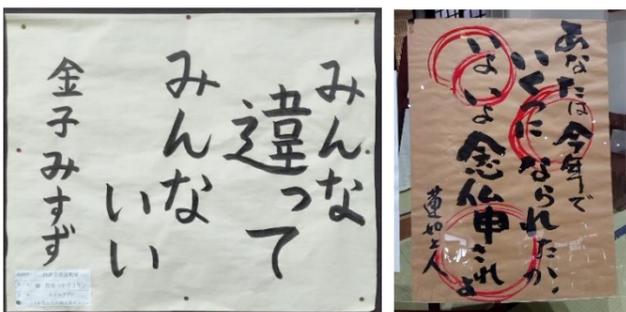
欲ふかき 人のこころと降る雪は
積もるにつけて道を忘るる 寂室和尚

神仏を拝むといいながら
自分の欲望を拝んでいる

苦しいのは
自分を中心にしているからだ



私が私であるという確証は
あなたに出会ったということ
祖父江文宏



中高生筆耕の掲示法語

明日死ぬかのように生きよ
永遠に死なぬかのように学べ ガンヂー

我が子に「恥ずかしい」と感じた時
ほんとうの親が誕生する 松本樞丸

私のものさしで問うのでなく
私のものさしを問うのです



わが心よければ
往生すべしと思うべからず
親鸞聖人

飛騨御坊ホームページ『ひだご坊一口法話』7月

日野 光洋氏 (益田組桂林教会主管者)
内記 洸氏 (高山2組往還寺副住職)

※印刷したものの郵送をご希望の方は、教務支所までご一報ください。



WEB一口法話はこちら

寺宝館の案内看板を設置

寺宝館への案内看板が、本堂と寺宝館への渡り廊下に設置されました。



御坊文化芸術祭 約300の方がご来場されました。

6月6日(火)午後7時から、飛騨仏教青年会主催による「御坊文化芸術祭」が開催されました。今年は、モンゴルの国立楽団「テングル・アヤルグー」をお招きし開催されました。

「ホーミー」という発声など、エキゾチックな異国の音楽ではありましたが、どこか懐かしさを感じるものがありました。最後に「三帰依文(パーリ文)」をいっしょに合唱して幕を閉じました。



飛騨御坊真宗教化センター・高山別院 2023年7月行事予定

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場
1	土			
2	日			
3	月	13:00	別 三日のご坊 法話:江馬 雅臣氏(賢誓寺副住職)	本堂
4	火			
5	水	7:00	別 半日華	
6	木			
7	金	15:00	教 教区教化委員会	Web
8	土			
9	日			
10	月			
11	火	13:00 14:00 15:00	別 大谷婦人会定例 法話:三島多聞氏(輪番) 教 教区坊守会委員会 別 院議会	御坊会館 安養寺 御坊会館
12	水	13:00 14:00	組 高山2組坊守会 教 教区財務委員会・参事会・常任委員会・緊急事態対策委員会	研修会 岐阜高山教務所
13	木	7:00 19:00	別 前往上人ご命日 組 高山2組組会	本堂 研修室
14	金			
15	土	7:00	別 半日華	
16	日			

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院・教区・組	会場
17	月			
18	火	13:30	教 教区会通常会	岐阜高山教務所
19	水	14:00	教 教区門徒会通常会	研修室
20	木	13:30	組 高山1組同朋総会	研修室
21	金			
22	土			
23	日	13:30	教 婦人研修会	本堂
24	月	9:00	別 おみぎき	本堂
25	火	7:00 19:00	別 半日華 教 教化研究所	研修室
26	水			
27	木	13:00	別 親鸞聖人お逮夜	本堂
28	金	9:30 13:00	セ ごぼう夏のつどい 別 親鸞聖人御命日 法話:畑 亮徳氏(願徳寺住職)	本堂
29	土			
30	日			
31	月		別 学場準備	

2023年8月 ※15日ごろまでの掲載とし、定例行事は省きます。

日	曜	時間	ご坊センター・高山別院	日	曜	時間	ご坊センター・高山別院
1~5	別		飛騨学場・暁天講座	4	金	19:00	組 高山2組教化委員会